

目指す学校像 「元気いっぱい 笑顔でつながる武蔵野小」

●三者（子供・保護者、地域の方々・教職員）が笑顔で過ごせる地域の学校

目指す子供像

- よく考える子…何事も自分ごととして捉え、自ら学びに向かい表現を楽しめる子
- 思いやりのある子…むさしのリーダーシップを身に付け、自他を尊重し、大切にできる子
- 健康な子…基本的な生活習慣を身に付け、運動に親しみ、心身ともに活力に満ちた子

「エンパシー」を意識してコミュニケーション能力を磨き、「言葉の力」を活用しながら、子供たち同士、教員同士、教員と子供、学校と家庭・地域、武蔵野小と第三中学校、それぞれが本音で語り合える、風通しの良い関係を構築していきます。また、指導においては、共通認識、共通理解、共通実践を推進し、「チーム武蔵野」として自分ごとと捉えながら一貫した指導を行い、時と場所が変わっても児童が自信をもって行動できるよう自己有用感を高める指導を進めていきます。

学びの基盤である「言葉の力」に注力し、物事を自分ごととして捉え、考え、行動できる児童の育成を目指します。

エンパシー・一貫した指導

1.言語活動の充実

- ・「表現すること」を重点目標とし、言語能力を育成する。
- ・図書館機能の充実
- ・思考ツールの活用

2.学習の基礎基本の定着

- ・コグトレ（認知機能向上プログラム）
- ・朝学習、放課後学習、家庭学習
- ・指導と評価の一体化
- ・小中9年間で身に付けたい力

元気いっぱい
笑顔でつながる
武蔵野小

言葉の力

考える力
感じる力
想像する力
表す力

A ICTの賢い文房具化
プログラミング的思考

B

望ましい生活習慣の確立
食育の推進

D

安心感のある教室
自己有用感の育成
安全教育の推進

3.探究活動の充実

- ・社会とつながるプロジェクト
- ・各教科においても課題を「自分ごと化」し、主体的に納得解を追求する。

4.特別支援教育の充実

- ・ユニバーサルデザイン
- ・板書の一貫性
- ・なかよし学級
- ・むさしの学級、はばたき教室との連携

むさしのリーダーシップ（5つの習慣）

- ①自分ができていることを考える
- ②ゴールを決めて努力する
- ③みんなの幸せを考える
- ④相手の話を聞き考えを伝える
- ⑤協力して行動する

「むさしのリーダーシップ」を基盤とした児童の育成

- 日常の毎場面を啓発の場とし、**非認知能力**の向上を図り、**予測困難な時代を生き抜く力**をつけさせ、将来を担う人材を育成する。
- 児童一人一人が主役であり、**自己決定力**を育み、**自己有用感**が高まる**指導**の工夫。

「コグトレ」を活用した認知機能の向上

- 金曜日の朝学習は、全校で『コグトレ』に取り組み、「数える」「覚える」「写す」「見つける」「想像する」といった**認知機能**の向上を図り、**学習の土台**を構築する。

4つの取組

1. 言語活動の充実 ○ 言葉の力を軸とした教育活動 ・主体的・対話的で深い学び 教員は指導者からファシリテーターへ ・振り返りで自分の考えを見える化 ・ノートに残した思考の軌跡の活用 ・協働的な学びで思考を深める。 ・辞書引き（辞書の活用・漢字は熟語で覚える） ○ 図書の時間で学ぶ…貸し借り、読書で終わらない。調べ学習の拠点化 ○ 朝読書の取組 ○ 学級会の話し合い活動の充実	2. 学習の基礎基本の定着 ○ めあての明確化と学習方法の定着 ○ 「コグトレ」を活用した認知機能の向上 ○ 朝学習の系統的な取組 ○ 金曜日の放課後学習で自信の創出 ○ 最終下校時刻の工夫による、放課後補習 ○ 家庭学習の手引きの有効活用 ・学年×10分+αの定着（決まった時間に実施） ・自主学習の習慣化 ・自己にあった取組の選択力 ○ 教科担任制の推進（高学年） ○ 始業時間の厳守
3. 探究活動の充実 ○ 「見方・考え方」を働かせて、学習対象と深く関わり、問題を発見したり、解決したりして、自己の考えを形成したり、創造したりする。 ○ 思考のキーワード、思考ツールの活用 ○ 探究的な活動を重視した、総合的な学習の時間の見直し	4. 特別支援教育の充実 ○ なかよし学級(むさしの学級交流)のさらなる充実 ○ 子供の困り感に寄り添った校内委員会 ○ 特別支援コーディネーターを軸とした校内体制の充実 ○ スクールカウンセラーの有効活用 ○ 関係外部機関との連携

4つの視点

A. ICTの賢い文房具化 ○ ICT 機器との適切な距離感 ○ 情報モラルの系統的指導と徹底 ○ 1人1台端末の有効な活用事例の共有 ○ ICTの有効活用と家庭学習の在り方の模索 ※デジタルとアナログのバランスのよい有効活用	B. 生活習慣・食育の推進 ○ 生活リズムの基本設計…睡眠時間、メディア時間、早起き・早寝（心身の健康） ○ 豊かなスポーツライフ…多様な動きの経験 ○ 「グッドモーニング60分」の定着 ○ 「命をいただいている」意識をもたせる
C. コミュニティ・スクールの強みを活かす ○ 郷土愛の醸成をねらった羽村学・人間学の充実 ○ コミュニティ・スクールを活用した社会とつながるプロジェクトの推進・人材バンクの活用 ○ 保護者、地域への授業支援の働きかけの充実 ○ 施設隣接型のメリットを活かした小中一貫教育 ・進学した子供が困らない共通指導	D. 安心感、自己有用感、安全教育 ○ 子供が安心できる学級づくり ・レジリエンスの構築（失敗したらやりなおせばいい） ・「SOSカード」の活用 ○ 「チャレンジ」を楽しめる児童の育成 ○ 「失敗しない力」より「ピンチを切り抜ける力」 ○ 中休みは子供と過ごし、児童理解を深める

